

私 たち の 会 社



いろんな人が
タッグを組んで
現場をつくる！

幅広い世代の人たちが働く佐々木架設。さまざまな業種、会社の出入りがある現場で働く中で、とび職チームとして支え合っています。性格はもろろん、経歴や趣味もばらばらですが、不思議と団結力があり笑顔が絶えない職場です。話しやすい和やかな雰囲気があるので、分からないことも聞きやすいですよ。

現場には、技術職の「鳶工(とびこう)」以外にも、現場の安全管理などをする「番頭(ばんとう)」がいます。



建物も、時代も、
新しい世界を
「作」る会社

佐々木架設のロゴマークは、会社の前身「佐々木組」の創業者・佐々木作蔵氏の名前から作られました。技術、知識、そして安全への意識を「作」という一文字に込めているのです。平成15年に現在の佐々木架設という会社になり、清水建設の関東エリア案件を専門として請け負っています。商業施設やタワーマンション、医療施設や大学、ホテルなど、手掛ける現場はさまざまです。地図に残る建物を、一緒に作っていきましょう。



仕 事 の 流 れ

01



打刻・朝礼

出勤・退勤の打刻や朝礼などは各自タブレットで行います

03



足場の組み立て・解体など

足場を組む作業にトライ！クレーンや鉄骨の組み立て、工員用階段の設置なども担当

02



材料の仕分けなど準備

入社当初は資材仕分けや準備からスタートし、少しずつ技術を身につけます

04



休憩

小まめな休憩でチャージ！昼休み以外にも午前と午後に30分ずつ、ひと休みできます

先輩の声

今、佐々木架設で活躍している
3人の先輩社員にインタビュー！



Interview 01

濱先 陽心 (2022年入社)

以前は解体業に就いていましたが、先に弊社に勤めていた弟(聡彌さん)の話聞いて待遇の良さに魅力を感じ、転職しました。一番嬉しいのは、とても働きやすい環境ということ。技術力アップのサポートをしっかりしてくれます！

弊社の鳶工の作業レベルはとて高く、職長はしっかりと現場を管理して回ってくれています。まだまだ駆け出しですが、鉄骨がピタッと入ったときの快感など、すでに鳶工の楽しさにハマっています。



Interview 02

濱先 聡彌 (2021年入社)

技術を磨けばどんどん関わらせてもらえるので、やりがいのある仕事ですね。今は玉掛けや足場、無線などの免許も取り、鉄骨を組む仕事にも関わっています。また、僕は高いところが好きなので、日常では行けないような

高いところに上がれるのも嬉しいです。朝は少し早いですが、待遇や手当にも満足しています！
新入社員の方とは年齢が近いので楽しみです。僕がしてもらってきたように、優しく丁寧に接していきたいと思います。



Interview 03

中野 朋哉 (2003年入社)

現在は職長として現場の管理をしています。入社当初は「何年であのポジションを目指そう」といった具体的な目標は考えていませんでしたが、目の前の仕事を誠実に続けていくうちに、少しずつ変化していく立場にも面白さを感じるように

なりました。これから入ってきてくれる若い人たちも、仕事をするうちにきっと自分がどんどん変わっていくと思います。どんなタイプの人でも大歓迎です。一歩踏み出してさえくれば、あとは任せてください！



私たちが の仕事

絶景を見ながら! 高所で作業

「鳶」と言っても、じつはさまざまな仕事があります。足場専門、鉄骨専門など一部の作業に特化した会社もある一方、佐々木架設は鳶工が担うすべての作業ができる技能集団です。ひとつの現場の限定的な作業のみというわけではないため、建築工事のさまざまな場面に携わることができます。また、クレーンを組んでいく作業の際は、写真のように遠くまで見渡せそうなほど高い場所で作業することも珍しくありません。

先陣を切って作業する 「建築現場の華」

鳶工の仕事によって、現場の人たちが作業できるように足場を組まれ、作業場所まで行けるように道が仮設されます。「鳶工の仕事なくして現場は始まらない」そんな重要な役割を担っています。また、鳶工は足場を組み立てる際など、華麗に動き回ることから「建築現場の華」と言われることも！
軽やかに、迅速に、そして安全に！
現場を進めるキーとなる仕事と言えます。

採用担当に

一問一答



採用の
ギモンに
答えます！

採用担当
石原 智彦

Q 選考時に注目しているポイントは何か？

A やる気を感じさせてくれる、野心のある方は大歓迎です！

とはいえ、人それぞれ個性があり、その個性を私たちが活かしていくべきだと考えています。

Q 建築や鳶の業界についてまったく分からなくても大丈夫ですか？

A まったく問題ありません。

入社後、現場でも優しく丁寧に指導していきますので、安心してご入社ください。

Q 入社までに身につけておくべき技術や知識はありますか？

A 特にありません。

パンフレットに書かれていることを読むなどして、鳶工という仕事をなんとなく理解してもらえると嬉しいです。

Q 勤務時間外での社員同士の交流はありますか？

A 自由参加のイベントがあります。

勤務後に飲みに行ったり、熱海の保養所を使った旅行やキャンプなどをしたりする機会があります。



01

清水建設の一次下請け という安心感！

佐々木架設は清水建設の建設現場だけに携わる、一次下請けという立場にあります。大きな建設会社から仕事を請け負っているため、大規模の現場、有名な現場などに事欠かず、安定した受注があるのが魅力です。また、入社直後の業界知識やビジネスマナー研修、その後1年ごとのフォローアップ研修は、清水建設との合同で受けることができます。そのほか、最新の機器や設備を導入している現場が多いのも特長です。

こ	こ	が	
イ	チ	オ	シ

佐々木架設のイチオシポイントをご紹介します！



02

現場の声を聞く企業！

業界歴20年以上の鈴木社長は、現場の鳶工とも気軽に話せる存在です。というのも、かつて社長が鳶工として働いていたときと今では、まったく時代が異なると社長自身が感じており「もっと働きやすい会社になりたい!」とさまざまな工夫をしてきたから。その上で、それぞれの鳶工の仕事ぶりを見て、しっかりと評価します。評価は任される仕事の内容や立場、待遇面にも反映され、働くモチベーションにも繋がっています！



代	表
挨	拶



若者にチャンスだらけの世界です

私は、企業、鳶業界や建設業界を担う一人として、新しい世代の参入は必要不可欠と考えています。そのため、大ベテランの職人たちを説得し、会社の意識改革に乗り出しました。結果、多くの社員から「働きやすくなった」という声がもらえ、現在も10~20代の若い鳶工が元気に働いてくれています。鳶工の仕事は、若い世代でもどんどんキャリアアップできる世界です。都市の再開発やインフラの老朽化対策など、建設需要は高まるばかり。若いパワーが技術をつければ、すぐに高いポジションに登っていくことができますよ。

代表取締役 鈴木 盛夫

